

卒業生動向調査結果

本校は平成 8 年より看護師 3 年課程の教育をスタートさせ、平成 27 年 3 月には 1000 名を越す卒業生を送り出しています。本校の教育を評価し、教育改善へと役立てたいと考え平成 28 年 12 月、卒業生に郵送、自記式アンケート用紙による調査を行いましたので結果の概略を報告します。

I. 調査対象および方法

本校、看護科卒業生 1053 名を対象とし、その内、連絡先の確認が出来た卒業生 858 名に自記式アンケート用紙を郵送しました。宛先不明で戻って来た 69 を除いた 789 を配布数とし、回収は 178 で回収率は 22.6%となりました。調査期間は平成 28 年 12 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日とし平成 28 年 12 月 1 日時点での状況を回答してもらいました。

依頼文書には調査目的、調査対象、調査期間、調査方法および、プライバシー、匿名性の配慮について記載し、アンケート用紙への回答をもって、調査協力への同意を得たものとなりました。

II. 調査結果

1. 個人特性

年齢は 21 歳から 56 歳、平均年齢 33.0 歳でした。本校 1 期生の現役入学生の年齢は調査時点で 39 歳となりますが、本校は既卒者の入学も多く、17 期生までの最高齢入学生は 49 歳であり、幅広い年齢層から回答が得られました。性別は女性が 164 (92.1%)、男性が 14 (7.9%) でした。

2. 卒業直後の職場での勤続年数と勤務場所数(経験した職場の数)

卒業直後の職場での勤務年数は、卒業年度が古いほど長い傾向があり、16 年間の卒業生の新卒退職率平均は 7.6% (卒業後 1 年未満者以外で計算) となりました。しかし、同一カリキュラムで履修した卒業生ごとに集計し比較すると卒業後 1 年以上 5 年未満が 4.3%、5 年以上 11 年未満が 11.3%、11 年以上が、4.5%となり、2006 年～2011 年卒業生の新卒退職率が高いことがわかりました。

卒業後の勤務場所数については 1 か所の回答者が最も多く、96 名 (54.2%)、2 か所 42 名 (23.7%)、3 か所 25 名 (14.1%)、4 か所 5 名 (2.8%)、5 か所 4 名 (2.3%)、6 か所 2 名 (1.1%)、7 か所、9 か所、11 か所が 1 名 (0.6%) でした。

3. 総勤務年数、産休・育休期間

看護師としての総勤務年数の平均は 6.7 年でした。総勤務年数の平均は卒後年数があがれば、当然上昇する結果となり、10 年目までは卒後年数そのまま総勤務年数に近く、10 年目あたりから、総勤務年数平均が卒後年数から離れていく傾向があります。

産休、育休取得の状況は 178 名中、取得したことのあるものは 33 名で 18.5%となり、平均取得期間は 1.6 年でした。

4. 勤務施設の所在地

回答数 178 名中、西宮市内で勤務したことのあるものは 60 名 34.0%、西宮市以外の兵庫県内で勤務したことのあるもの 99 名 56.2%、兵庫県以外の都道府県で勤務したことのあるもの 51 名 29.0%、兵庫県下で働いたことのないものは 30 名 16.9%でした。回答者の半数以上が西宮市内で勤務経験があり、8 割以上が兵庫県内で働いたことから、地域医療への一定の貢献は出来ていると思われれます。平均勤務年数は西宮市内 3.8 年、兵庫県内(西宮市外)6.5 年、兵庫県以外の都道府県 5.7 年でした。

5. 退職理由について

退職理由について回答があったものは 98 名であり、多かった理由は結婚 22 名、出産・育児 18 名、他にやりたいことがあった 18 名、ついで健康上の理由 14 名、家庭の都合 13 名、その他 13 名となった。医療事故の不安 1 名、自分の適性・能力の不安 2 名であり、自らのライフイベントにあわせて退職を選んでいるようです。

6. 現在の仕事の状況

現在、働いているものは 147 名 (82.6%)、働いていないものは 31 名 (17.4%) であり、働いていない理由は離職中 12 名、産休・育休中 18 名、語学留学中 1 名でした。

働いているもののうち、無解答 1 名を除くと、看護職で働いているものは 144 名 (98.6%)、看護職以外 2 名 (1.4%)、でした。

雇用形態については、正規雇用 129 名 (90.2%)、非正規雇用 13 名 (9.1%)、自営 1 名 (0.7%) で、高い就業率と安定した雇用形態で働く卒業生が多いことが明らかになりました。

7. 看護職としての現在の職場

現在の看護職としての勤務場所は病院 (200 床以上) 99 名、病院 (200 床未満) 39 名、診療所 12 名、訪問看護ステーション 5 名、介護老人保健施設 1 名、看護師養成施設 (専門学校) 3 名、看護師養成施設 (大学) 0 名でした。

8. 本校教育について

①現行カリキュラム以前の卒業生 (1~12 期生)

現行カリキュラム以前の卒業生 (1~12 期生) には在学中、印象に残っていることを自由記載で回答してもらいました。

意見記載は 82 件で、実習に関連したものが 46 件と、意見記載の半数以上が実習への様々な思いを記載していました。しかし、実習が大変だったというマイナス印象の記載が多いものの、大変さがありながらも、その大変さを肯定的に表現している意見の方が多く 36 件であり、大変だった印象だけを記載しているものは 11 件でした。実際に看護師として働く中で実習を乗り越えたことが自信になり、自分を成長させていたと実感できたようです。

その他、多かった内容は戴帽式や体育祭、文化祭といった行事に関連する記載で 21 件あり、学生時代の強い印象につながっているようです。

②現行カリキュラムの卒業生 (13~17 期生)

現行カリキュラムの卒業生 (13~17 期生) は本校の教育理念、教育目的・目標、期待される看護師像および卒業時の行動特性より抽出した 7 項目を「充分役立った」から「役立っていない」までの 5 段階で評価してもらいました。

回答者は 68 名、項目によって 1~2 名の無回答がありました。すべての項目において 9 割以上が肯定的な回答をしており、「あまり役立っていない」と回答したものは各項目 5 名以下「役立っていない」と回答したものはありませんでした。

各項目間で大きな差はなかったものの、「充分役立った」「役立った」「まあまあ役立った」の肯定的な回答がもっとも多かったのは「看護実践のための援助技術」でした。反対に、「充分役立った」がやや少なく「あまり役立っていない」が多かった項目は「問題意識を持って看護を探究する力」「倫理観に基づいた看護実践の基盤」でした。

III. まとめ

看護科設置以来、初めて卒業生へのアンケート調査をおこなった結果、8 割以上が看護師資格を活かして働いており、高い就業率と安定した雇用形態で働く卒業生が多いことが明らかになりました。また、西宮市内での勤務経験者が 3 割以上、兵庫県下(西宮市内を除く)での勤務経験者が 5 割以上おり、地域の医療職者需給にある程度の貢献ができているものと判断しました。

卒業後 1 年未満で退職する早期離職者は全国的な平均とほぼ一致していますが、卒業年度で差があり、早期離職防止については対策を強化する必要があると考えます。

本校教育についての回答からは、行事について強く印象が残っており、学生同士の交流を深め、学校への帰属意識を深めるものとして今後も継続していきたいと考えています。

現行カリキュラム卒業生の回答からは「問題意識を持って看護を探究する力」「倫理観に基づいた看護実践の基盤」がやや低い傾向があり、実習について肯定的にとらえられているものの、大変なものとしての印象が残る実習ではなく、やりがいのある、看護を探究する楽しさを知る実習としてとらえられるよう、実習内容、指導方法を変更していく必要があるものと考えます。

今後、日本は類を見ない超高齢社会へと急速に変化していき、18 歳人口は減少の一途をたどり、入学生の確保困難が予測されます。また、地域医療連携が推進される中、今後は病院で働くだけでなく、さまざまな場面で看護実践者として力を発揮できるような看護師が求められます。今回の調査結果を参考にしながら、時代に沿った教育を実践する看護師養成施設としての役割を果たしていきます。

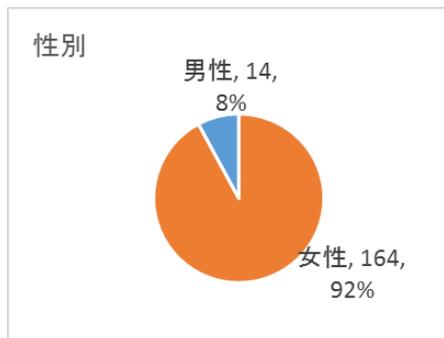
2018/3/31

西宮市医師会看護専門学校
自己点検・自己評価委員会

回収数

総回収数	178
全体平均年齢	33.0
総勤務年数平均	6.7

男女比



平均年齢

期生	入学年	回収数	平均年齢	総勤務年数平均	課程カリキュラム
1期生	1996年入学	3	39.3	12.9	3年課程 定時制
2期生	1997年入学	8	38.3	10.3	
3期生	1998年入学	10	38.6	11.9	
4期生	1999年入学	12	39.3	11.4	
5期生	2000年入学	5	35.2	12.5	
6期生	2001年入学	6	35.0	11.0	
7期生	2003年入学	13	32.6	9.5	3年課程 全日制
8期生	2004年入学	8	31.0	9.1	
9期生	2005年入学	11	34.0	8.6	
10期生	2006年入学	13	32.9	7.3	
11期生	2007年入学	8	34.3	6.3	
12期生	2008年入学	9	34.9	5.4	
13期生	2009年入学	10	33.1	4.3	
14期生	2010年入学	13	32.7	3.8	
15期生	2011年入学	9	31.4	2.6	
16期生	2012年入学	14	28.5	1.6	
17期生	2013年入学	21	25.0	0.7	
	入学年度不明	5	34.8	8.8	

新卒退職率

期生	卒後1年未満退職者数	回答数	卒後1年未満退職率
1～6期生	2	44	4.5%
7～12期生	7	62	11.3%
13～16期生	2	46	4.3%
卒業時期不明	1	5	20.0%
全体平均	12	157	7.6%

勤務場所数

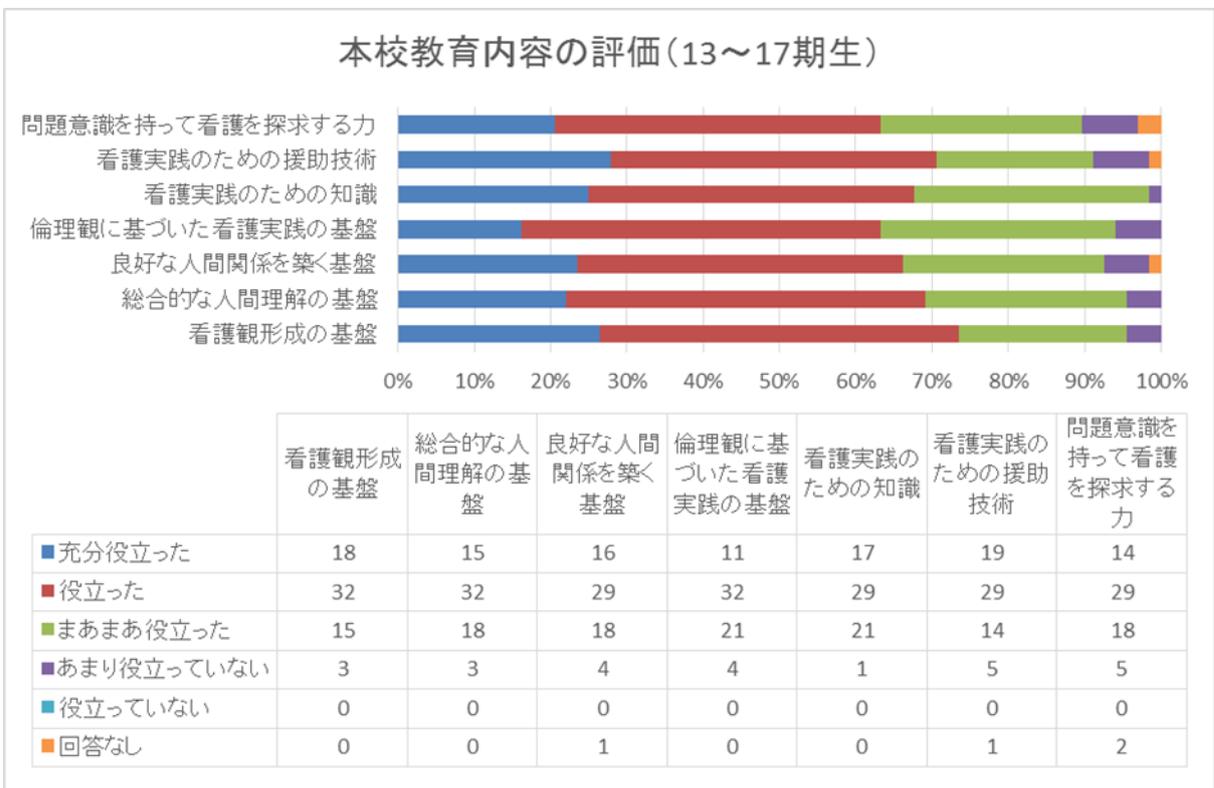
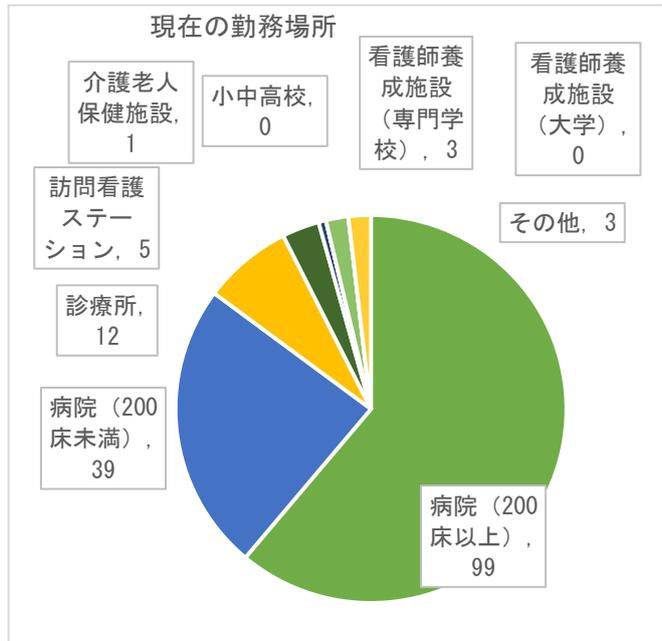
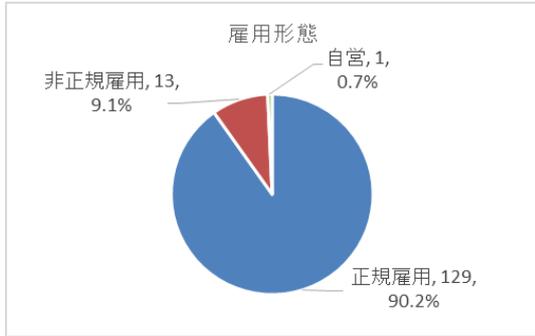
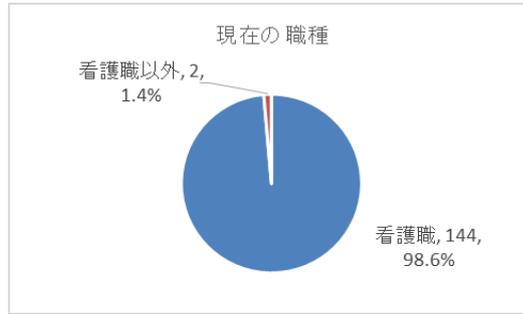
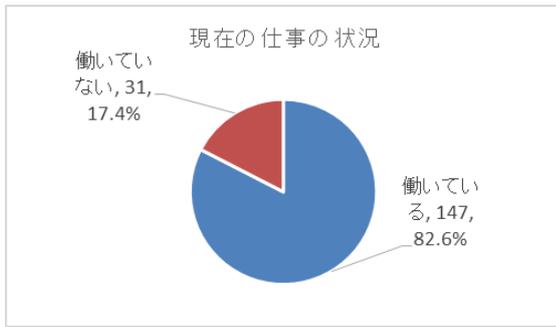
勤務場所数	回答数	有効パーセント
1	96	54.2
2	42	23.7
3	25	14.1
4	5	2.8
5	4	2.3
6	2	1.1
7	1	0.6
9	1	0.6
11	1	0.6
合計	177	100
無解答	1	

勤務所在地別勤務年数 産休育休年数 研修年数

	西宮市内勤務年数	兵庫県内(西宮市以外)勤務年数	その他都道府県勤務年数	育休年数	研修等年数	総勤務年数
回答数	60	99	51	33	4	178
平均年数	3.8	6.5	5.7	1.6	0.5	6.7

退職の理由(退職の経験のあるもの98名)

結婚	出産育児	家庭の都合	進学	他にやりたいことがあった	医療事故の不安	自分の適性・能力の不安	看護に対する考え方が合わない	人間関係	健康上の理由	給与・休日など勤務条件	その他
22	18	13	5	18	1	2	9	11	14	9	13
22.4%	18.4%	13.3%	5.1%	18.4%	1.0%	2.0%	9.2%	11.2%	14.3%	9.2%	13.3%



* 調査結果について詳細をお知りになりたい方は本校へお越しいただければ報告書をご覧いただけます。ご希望の方はお問合せください。